

平成 29 年 9 月 26 日

三島市長
豊岡 武士 様

要 望 書

NPO法人グラウンドワーク三島	理 事 長	小松 幸子
三島ゆうすい会	会 長	塚田 冷子
源兵衛川を愛する会	会 長	越沼 正
21世紀塾	代表世話人	小野 徹
三島ロータリークラブ	会 長	高原 敏廣
公益財団法人佐野美術館	理 事 長	峰田 武

三島市の最も貴重な「財産」は、三島駅南口に広がる自然豊かな歴史ある「楽寿園」です。この楽寿園は、小松宮彰仁親王を経て李王家の所有となった別邸を、昭和2年（1927年）に、緒明圭造氏が当時の三島町の年間予算に相当する金額で一括購入したものです。

圭造氏は、明治16年（1883年）に緒明造船所を設立して財を成した緒明菊三郎氏の婿であり、緒明家の邸宅・庭園として長く維持保全されてきました。

昭和27年（1952年）に圭造氏のご息子緒明太郎氏的意思により、現在の楽寿園の敷地面積約7.5ha（東京ドーム約1.6個分）のほとんどを寄付されたようです。今も緒明家の所有地はありますが「水の都・三島」の水源地と緑地帯が、緒明家のご厚情により今まで90年間にわたり大切に守られてきました。

そこで、楽寿園に隣接した「街の森」を「緒明（おあき）の森」に名称変更していただきたく、「要望書」を提出するものであります。現在、楽寿園において、元所有者であり、三島市の緑の保全に多大な貢献をされてこられた「緒明家」の名称はまったく見当たりません。これでは、将来的に楽寿園に関わる「緒明家」の歴史と意思が途絶えてしまいます。

グラウンドワーク三島の理事長を20年以上も担われた緒明實氏も、緒明名の由来「鼻緒を作っていたら朝になってしまい、貧しい時代を忘れないように緒明の名になった」ことを誇りとして、次世代に長く語り継いでいきたいと話されていました。将来「街の森」を改名する時期に、「緒明の森」に名称変更が実現できますように、お願い申し上げます。